神話伝説の山里

「高千穂郷（たかちほごう）」通信

254
令和６年１１月号
発行　宮崎県西臼杵支庁

「土木の日ふれあい祭り２０２４」開催！

11月16日（土）、高千穂町で「土木の日ふれあい祭り2024」が開催されました。

このイベントは、道路や河川等の社会基盤の整備による地域経済の活性化や安全で安心な暮らしなど、「土木」の取組を地域の皆様に親しんでいただこうと、「土木の日（11月18日）」の取組の一環として、高千穂地区建設産業団体連合会、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、西臼杵支庁の主催により、昨年度から開催しているものです。

当日は、建設機械の試乗などの体験コーナーや出店のほか、自然休養村管理センターでの現場写真やパネルなどの展示がありました。

多くの家族連れが会場に足を運んでくださったこのイベントを通して、子どもたちに少しでも土木に興味を持っていただき、新たな土木技術者となるきっかけとなれば幸いです。

西臼杵を彩る冬の花！

ラナンキュラス研修会が開催されました！

12月4日（水）、五ヶ瀬町と高千穂町で、県内の生産者を対象とした「ラナンキュラス研修会」が開催されました。

研修会では、始めに高千穂地区花き園芸振興会ラナンキュラス部会の部会長である松本 陽介さん（五ヶ瀬町）のハウスを訪問し、今年の作付けの説明や生育状況の視察を行ったあと、JAみやざき高千穂地区本部ゆめゆめプラザTAC（高千穂町）に移動し、栽培方法の講習や試験成果の報告が行われました。

西臼杵地域は、もともと夏秋に生産される小ギクの産地でしたが、年間を通して農業をしたいという生産者に向けて冬春品目の導入を検討する中で、ラナンキュラスが推進品目として浮上し、県総合農業試験場の現地試験や実証ほ場の設置などを経て、平成14年度に本格栽培が始まりました。それ以降、研究会やJA、西臼杵農業改良普及センターなどが連携し、生産技術の確立を目指して検討を重ね、現在では県内でも有数の生産地となっています。

西臼杵で生産されたラナンキュラスは、11月下旬から出荷が始まっています。シルクのような質感の花びらが何枚も重なった姿はとても華やかで、プレゼントにもぴったりです。

西臼杵産の「あまてらすラナンキュラス」を、ぜひ手に取ってみてください！

西臼杵地域のオリジナル品種！

あまてらすラナンキュラスの魅力をご紹介！

「あまてらすラナンキュラス」は、JAみやざき高千穂地区本部ラナンキュラス部会で生産しているブランドで、西臼杵地域の冷涼な気候でゆっくりと成長するため、色鮮やかで花のボリュームが大きく、茎もしっかりとした太さがあり丈夫なのが特徴です。

徹底した選別による品質の高さやそろいの良さが市場で高い評価を得ており、約10年前から行っているアメリカへの輸出も年々その量が増加しています。オリジナル品種である「ちほシリーズ」をはじめ100種近い品種があり、好みや用途に合わせて色・形を選ぶことができます。

JAみやざき高千穂地区本部
ラナンキュラス部会の
Instagram 更新中！

西臼杵の烏龍茶を台湾の茶研究所が視察しました！

10月25日（金）、台湾農業部茶及飲料作物改良場（国立の茶研究所）の蘇 場長と研究者が宮崎茶房（五ヶ瀬町）と甲斐製茶園（高千穂町）を訪れ、西臼杵と台湾の烏龍茶の違いなどについて、管内の茶生産者と意見交換を行いました。

当日は、西臼杵農業改良普及センターの職員や宮崎県総合農業試験場茶業支場の佐藤 支場長のほか、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）果樹茶業研究部門 茶業研究領域の佐藤 研究領域長も参加するなど、日本と台湾のそれぞれの国を代表する茶の研究機関が、ここ西臼杵に集う形になりました。

台湾の茶研究所の蘇 場長は、「西臼杵の烏龍茶は、台湾の烏龍茶と味が似ており、生産者や普及員の努力の成果を感じた。今後もこのような交流を通して、互いに高めあっていきたい」と、農研機構の佐藤 研究領域長は、「コロナ禍で中断していた日本・台湾の茶の技術交流を行えて大変良かった。西臼杵の茶生産者には、台湾の技術を吸収し、日本の代表として引っ張ってもらいたい」と話されていました。

普及センターでは、茶業経営の安定化に向け、従来の特産品である釜炒り茶に加えて、烏龍茶の産地化に取り組んできましたが、今回、烏龍茶の本場である台湾の研究者から西臼杵産烏龍茶の品質を高く評価していただき、生産者、普及センター職員共に自信を深めることができました。

今後は、西臼杵産烏龍茶の更なるブランド確立に向けて、観光地の利点を活かした生産販売対策の支援や輸出強化に取り組んでいきます。

世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域の魅力をPR！JALマルシェに出店しました！

11月16日（土）から17日（日）にかけて、日本全国の自治体等が特産品を出品する「JALマルシェ」が福岡空港で開催されました。

西臼杵地域からは、「世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域」が出店し、「一般社団法人ツーリズム高千穂郷」と「諸塚村特産品販売所もろっこはうす」が、諸塚村で採れた「原木しいたけ」やツーリズム高千穂郷の新商品「柚子マドレーヌ」など、5町村（高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、椎葉村、諸塚村）の特産品を販売しました。

当日は家族連れや旅行客など多くの方が訪れ、出店した各自治のブースからは客を呼び込む威勢のいい声が響き、会場は大いに盛り上がっていました。

民有林林道工事コンクール で 五ヶ瀬町の工事が 農林水産大臣賞 受賞！

11月20日（水）に東京都千代田区で開催された「第40回民有林林道工事コンクール」において、株式会社竹尾組（高千穂町）が五ヶ瀬町で施工した「森林資源循利用環林道整備事業（開設）岩神・大石線（１工区）」が、最高賞である農林水産大臣賞を受賞しました。

林野庁が主催するこのコンクールは、林道工事の施工技術の向上を目的として、都道府県発注の民有林林道工事を対象に毎年開催されており、本工事は、一般社団法人宮崎県治山林道協会主催の宮崎県治山林道コンクールで最優秀賞（知事賞）を受賞し、今回、全国コンクールに県代表として推薦されたものです。

今回の受賞は、県内の道路工事技術者の意欲高揚にもつながります。株式会社竹尾組のみなさま、受賞おめでとうございます！

令和６年度西臼杵郡障がい者スポーツ大会 が開催されました！

11月20日（水）、高千穂町武道館で「令和6年度西臼杵郡障がい者スポーツ大会」が開催されました。

この大会は、障がい者が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がい者に対する理解を深め、障がい者の自立と社会参加に寄与することを目的に毎年開催されているものです。

競技は、赤・白・青の3団対抗が中心でしたが、玉入れなど一般の方や来賓が参加できる競技もあり、来場した全員が一体となってスポーツを楽しんだ様子でした。

2027年（令和9年）には、本県で初めてとなる全国障害者スポーツ大会が開催予定です。地域で一緒になって、県内の障がい者スポーツを盛り上げていきましょう！

おかげさまで日之影ライド２０２４ が開催されました！

11月17日（日）、サイクリングで森林セラピーやパワースポットを巡る「おかげさまで日之影ライド」が開催されました。

このイベントは昨年から始まったもので、2回目となった今回は全長77kmの「世界農業遺産コース」と30kmの「ユネスコエコパークコース」の2コースが設定され、当日は元プロロードレーサーの山本 雅道さんがゲスト参加し、会場を盛り上げました。

日之影町は、森林セラピー基地、世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークに認定、登録されるなど、雄大な渓谷とそこに架かる橋が織りなす美しい風景が特徴で、町内外から集まった約100人のライダーたちは、起伏に富んだコースを快走しながら同町の魅力を全身で味わっていました。

Facebook
Instagram
西臼杵支庁 SNS 更新中！
発行／宮崎県 西臼杵支庁　編集／総務課
〒882－1101　宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181　FAX 0982(72)3760
神話伝説の山里「高千穂郷（たかちほごう）」通信